

(様式)

平成28年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も体育の学習に対する学習意欲・関心が高く、熱心に運動に取り組む児童が多い。
- ・それぞれの運動課題に合わせた学習カードを用いることで、児童が自分なりのめあてを立て、学習に取り組むようになった。
- ・児童同士が互いの動きを見合うことで、励ましの声かけ等、豊かなかかわり合いが増えた。

(2) 課題

- ・体育の学習で体を動かす楽しさを児童は感じているが、運動の日常化につながっていない。
- ・保健指導や保健の学習で学んだことを、日常生活に生かす実践力を伸ばしていく必要がある。
- ・児童が安全に運動することができるように、場の設定や道具の工夫をより一層考えていかなければならない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	平成28年度結果	平成27年度結果	平成26年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年		(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
「体育の授業が楽しい」と感じている児童が9割以上いる。 運動に対して、自分なりの課題意識をもたせることで、さらに関心・意欲が向上できそうである。	運動する上で、約束事を決めたり、友達と協力して取り組んだりすることができる。 児童が工夫した動きやルール等を互いに評価し合えるかかわり合いが増えるとさらに良い。	体力テストの結果から、「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅跳び」が東京都の平均より低い傾向が見られる。「50m走」や「ソフトボール投げ」は、東京都の平均より高い。	体を清潔に保ったり、生活環境を整えたりするために、自分がどうすればよいのか気付くことができる。 学習した内容が、実際の生活場面に生かそうとする意欲が必要である。

② 高学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
「体育の授業が楽しい」と感じている児童が8割以上いる。 ボール運動やゲームは友達とかかわり合い、積極的に運動に取り組む態度を感じる。	既存のゲームや与えられたルールに沿って、安全にゲームを進めることができる。 自分たちで、場やルールを工夫する力が育つとさらによい。	体力テストの結果から、「立ち幅とび」や「反復横とび」が東京都の平均より低い傾向が見られる。「50m走」「握力」「ソフトボール投げ」は、東京都の平均よりやや高めの傾向である。	「体力がない」＝「すぐ疲れる」と考える児童が多い。 保健で学習したことを日常生活の中で具体的にどう生かしていくのか考えさせる必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>運動に親しみ、伸び伸びと体を動かす楽しさや心地良さを味わわせるために、みんなで楽しく学べる活動、多様な動きをつくる運動遊びや鬼遊びを工夫する。</p> <p>児童同士の励ましの声かけを大切にさせ、全員が運動に対する意欲を高くもてるようにさせる。</p>	<p>楽しく運動できる方法を知り、楽しく遊ぶことができる場を選択できるように指導する。</p> <p>自分の活動をきちんと振り返ることができるよう、簡単な学習カードを活用する。</p> <p>かかわりの良さを伝えるために、友達の動きの良さに気付かせる場面を多く設定する。</p>	<p>各種の運動遊びを楽しみながら身に付けられるように内容を工夫する。</p> <p>中学年につながる動きを身に付けることができるようにするために、いろいろな動きができる多くの場の設定や運動内容を精選し指導していく。</p>	<p>健康に過ごしたり、安全に活動するために大切なことについて話し合ったり、健康の保持増進と体力の向上について理解させる。</p> <p>休み時間に自ら進んで活動できるような運動を紹介することで、体を動かす習慣付けをする。</p>

(2) 中学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>休み時間等で体を動かす活動につなげるために、楽しさを体感できるように運動内容を精選する。</p> <p>器械・器具を安全に使うことができるよう気を付けさせる。</p> <p>学ぶ意欲をもたせるために、一人一人にめあてをもたせることができるよう学習カードを工夫する。</p>	<p>子ども同士が良いかわり合いができるように、集団（チーム）で互いの動きについて意見を話す時間を確保する。</p> <p>自分の活動を振り返り、次の「めあて」が立てられるようにするために、学習カードの活用を推進する。</p>	<p>各種の運動を楽しみながら身に付けることができるように指導する。</p> <p>つまずきのある児童に適切なアドバイスをするために、技能分析をきちんと行い、技能のポイントをおさえて、模範となる演技等を見せていく。</p>	<p>安全及び体を清潔に保つためや生活環境を整えるために自分のことについて気付かせ、実践する意欲をもたせる。</p> <p>マラソンカード等、児童が達成度を感じることができるカードを与え、休み時間に自主的に運動できるようにする。</p>

(3) 高学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>誰もが運動を楽しむことができ達成感を味わうことができるように、運動計画・運動内容を考え実施していく。</p> <p>全力で体を動かす楽しさを伝え、日常化につながるような授業を考える。</p> <p>主体的に活動できるように学習カードを工夫し、一人一人が適切な自己の課題を見付け、技能を高められるよう指導していく。</p>	<p>ペアやグループでの活動を取り入れ、教え合い学び合いを行いながら学習を進められる場面を多く設定する。</p> <p>友達の動きの良さを見付けることができるようポイントを絞って指導する。</p> <p>自分の課題を明確に意識させるために、学習カードを使って、めあてを立てたり自己評価による振り返りをさせたりする。</p>	<p>全体的な技能を高め、弱点の補強を目指して指導していく。特に敏捷性や持久力を高められるよう、毎時間取り入れる等して、継続して行えるようにしていく。</p> <p>自分や友達とで技能の問題解決ができるようにするために、技カード等を精選し、技能のポイントを分かりやすくし、友達にアドバイスできるようにする。</p>	<p>けがの処置の方法や対処の仕方ができるようになるために、実践的な学習を計画する。</p> <p>体や心の成長について、個人差があることを自分の生活と照らし合わせて考えさせる。</p> <p>病気や薬物・アルコール等における正しい知識を習得させ、日常生活や自分の将来に見通しを立てることができるよう、ロールプレイ等を用いて指導する。</p>

